

# 令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【文蔵小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて  
(3月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題> 算数「数と計算」において、正答率が6割程度の問題があった。 <指導上の課題> 児童が反復・習熟に取り組む時間が十分ではなかった。	⇒ プリントやドリル/ワーク等を使い、基本的な計算等の反復や習熟に取り組む。【週1回の実施】 特に課題が見られた、小数や分数の計算やわり算の筆算、四則混合計算においては、スクールダッシュボードの授業アンケートから児童の理解度を的確に把握した上で、低学年から系統性をもたせた指導を実施していく。【毎時間設定】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 算数の「思考・判断・表現」に関わる領域では、他の領域に比べ、無回答率が高い。 <指導上の課題> 立式や説明に困難を感じている児童がいる。	⇒ 自力解決につながるような工夫や手立てを立てた授業づくりを実践し、自分の考えをもつことができる児童の育成を目指す。【R6年度さいたま市学習状況調査「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】

<小6・中3> (4月~5月)

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

結果提供(7月)

調査結果分析(7~8月)  
 ①結果分析(管理職・学年主任等)  
 ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)